



□ 2学期のまとめ

1年の中で最も長い学期で3つの季節が移り変わる学期がまもなく終わります。早いもので「暑い、暑い」とっていたのにもうすでに北風が吹き1年が終わろうとしています。この長い2学期を振り返ってみましょう。

感謝祭

第7回感謝祭が盛大に開催されました。1日目は弁論大会、校内音楽会などで練習してきた成果を見事に披露することができました。2日目は、ストアー、イベント、ステージの3部門でお客様にもてなしをすることができました。学年があがっていく程、準備や計画もスムーズで進行の精度も高いもので成長の跡が見られました。

備前東地区秋季総体

3年生が引退した後、新チームになっての初めての公式戦でした。また、県の秋季大会の予選を兼ねており、柔道部、女子バスケットボール部、野球部、剣道部が県大会に進出し、備前東地区の代表として堂々と競技しました。

生徒会選挙

生徒会もそれまで中心で引っ張ってきた3年生から2年生にバトンタッチされました。先輩達が築いてきた磐梨中学校の良き伝統を継承し、さらに発展進化させるべく頑張っています。

支部弁論大会・支部音楽会

桜が丘中学校で開催された赤磐加賀支部音楽会と、赤坂中学校で開催された赤磐・加賀支部弁論大会に磐梨中学校の代表が参加し、他の中学校に負けずおとらず堂々と発表することができました。弁論大会では、3年中山さんと2年田中さんが優秀賞に輝きました。

職場体験

2年生が4日間地域の事業所で職場体験を行いました。普段学校の中では味わうことのできない貴重な経験をすることができました。また、普段学校では見ることができない表情や姿を多く見るすることができました。

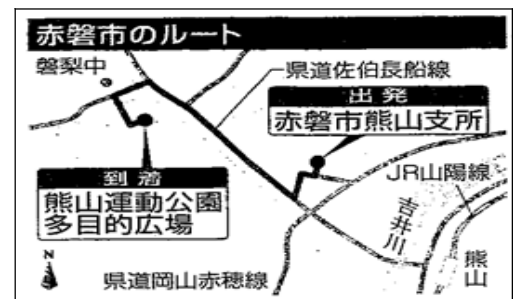
統一テスト

今年度も日生中学校と湯原中学校と連携して統一テストの取り組みを行っています。朝読書や晩学習やチャレンジタイムの時間を活用し、生徒会の学習委員会が中心となり国語・数学英語3教科の基礎的な内容をしっかり身につけるために行っています。10月にプレテスト、11月に第1回統一テスト、1月にプレテスト、2月の第2回統一テストを行い、3校で競い合っています。

過ぎ去ってしまえばあっという間ですが、多くの取り組みや活動を行い成果をあげてきました。1年の終わりのこの時期にしっかりと反省を行い、次のステップへの課題を明確にし、新年には新たな目標を掲げ、取り組んでいきたいものです。来年もよろしく願いいたします。良いお年をお迎えください。

□ 東京オリンピック聖火ルート決定

令和2年5月21日に東京オリンピックの聖火リレーが赤磐市にやってきます。そのコースが発表されました。熊山支所を出発した聖火は磐梨中学校を經由し、熊山運動公園多目的広場に向かいます。歴史的な聖火が目の前を通過していくのを見ることができるとは大変ありがたいことで、オリンピックの成功を願って盛り上げていきたいと思っています。ホッケー場では、今年来熊していただいたニュージーランド女子ホッケーチームの直前キャンプが決定すれば、中学生にとっては、また多くの方と交流をもてる機会となります。多くの人との貴重な出会いや体験を通して、心豊かな中学生に成長してくれることを願っています。



12/18 山陽新聞朝刊掲載

うらへ続く

□学校評価アンケートについて

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。アンケート集計結果とまとめを配布させていただきますましたが、他にもご意見を多くいただいております。そのご意見について報告をさせていただきます。

【学習に関する内容】

○分かりやすい授業、テスト問題について

岡山県の「学習指導のスタンダード」および「一步先へ」に基づいて授業改善を進めていきます。積極的に授業を公開し、教員の指導力も高めていきたいとも考えております。また評価の在り方も学習者の意欲の向上には大きな影響があるので、検討を進めていきます。

○家庭学習について

日々ワークブックへの取り組みを指導していますが、テスト後の締め切り間際に慌てて提出する生徒も見られます。提出することが目的になってしまわないように、学校の授業と家庭学習との関連性をもたせることと生徒の習熟度に合わせた課題の出し方の工夫を検討していきたいと考えております。

○全国学力テストの正答率について

生徒数の少ない磐梨中学校での平均は年によって変動が大きくなります。ただ単なる平均正答率の比較をするだけではなく、その集団の経年変化や正答、不正答、未解答の状況をしっかり分析をした上で、その学習集団への取り組みを考えていくことが重要です。また、正答率を上げていくためには、全体のレベルの向上が求められます。「習熟度学習」や「協働学習」を推進していくとともに現在も行っている「統一テスト」などの取り組みによる基礎基本の徹底を図っていききたいと考えております。

○授業規律について

授業中に落ち着かない生徒については、本人との教育相談や個別の懇談等を通して家庭と連携しながら、根気強く指導を行っています。また、学習指導員や空いている教員が補助に入り複数で授業を行うことも行っています。

【生活に関する内容】

○あいさつについて

アンケート調査でも「声が小さい」や「できなくなった」という意見を聞きます。あいさつは重要なコミュニケーションの要素であると言えます。人と人の好ましい人間関係作りや絆作りに欠かすことのできない手段であることを自覚し、積極的にあいさつができる生徒の育成を目指していきたいと思っております。

○登下校の時間について

登校時刻については、7時以降に校門を通過するよう指導します。最終下校時間については、「この時間までには下校する」という意味で日没時間を考慮しながら設定しています。日没の早くなる11月・2月は17:15、12月・1月は17:00を設定しています。帰りの会は16:15に終了しますので、部活動の時間も短くなります。心配な場合や用事がある場合等は部活動の顧問や担任にご相談ください。

○女子生徒の防寒について

現在の規定では、「登下校中はウィンドブレーカー及び体操服の上下の着用を許可する」となっております。寒い時は、ウィンドブレーカーまたは体操服で登下校を行っていただいで構いません。ただし、スカートの下に長ズボンをはくことは認めていません。教室内は暖房器具を設置しておりますが、場所によっては足下が冷えるという声を聞きます。3学期より肌色のタイツを認めます。また、特別な事情がある場合はご相談ください。

○いじめについて

いじめについては、深刻な問題であると捉えております。「いじめ問題対策基本方針」にのっとり、当該行為の対象となった生徒が心身の苦痛を感じた場合は、いじめの認知として必要な対策を講じなければなりません。学校としては学校全体で対応し、保護者の方とも連携していじめの解消に向けて取り組みを行います。必要があれば関係機関とも連携を行います。また、相当期間(約3ヶ月)を経ていじめが続いていないことを確認した上で解消と判断しますが、その後のについても慎重に様子を見ていきます。生徒の様子で変わった事やご心配な事があれば遠慮無くご相談ください。

○交通について

生徒の安全のためにヘルメットとたすきの着用を徹底します。下校時は駐輪場で下校指導を行っています。もし登下校時のヘルメット着用と下校時のたすきの着用ができていない生徒を見かけられましたら、声をかけていただくか、連絡をお願いします。また、引き続き並進運転につきましても指導を続けていきたいと考えています。

○給食について

生徒によって喫食にかかる時間に差がありますが、十分な時間を確保するために準備にかかる時間を短縮していきたいと考えています。

【行事に関する内容】

○あいさつ運動について

昨今の交通事故の現状を見るときに、ご指摘をいただいたように交差点での活動の危険性も十分考えられます。場所や方法について来年度に向けて検討していきます。

○廃品回収について

今年度も廃品回収にご協力いただき感謝しております。生徒の活動の様子や各地区の回収方法などの課題が挙げられます。各地区の生徒数の増減や教員、保護者、生徒の連携等の問題もあり検討の必要があると考えています。来年度のPTA評議員会の時に地区担当の教員とPTAの地区役員と連絡調整をする時間を設け、各地区の廃品回収の方法について改めて確認をさせていただきたいと考えております。

○1年生性教育講演会について

思春期の多感な時期にデリケートな内容で、発達段階の個人差が大きい中学生の時期には指導が難しいと思われる。しかし、子どもたちの周りにはインターネット等で性に関する様々な情報が渦巻き、興味本位で誤った判断をしてしまったり、犯罪に巻き込まれることが起きています。大切な自分の心や体を守るためにも性に関する指導は重要であると考えております。命の尊さを指導する計画の中で十分な事前の学習を踏まえながら行っていききたいと考えております。

○部活動について

大会や練習試合、合同練習の日程や場所をできる限り早くメールや予定表等で連絡をさせていただきます。送迎につきましても、予めご了解をいただき進めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。休日の活動については、練習終了後顧問が速やかに下校するよう指導いたします。